

# 終の住処で、

## 一日一日を大切に

平成18年12月にご入居された 高田 正民様、満洲子様

気の合う仲間とともに、  
充実の毎日

「6年前に、私が入院して手術になる大病をしました。その時、我が家で一番心配したのが、主人の食事のことだったんです。何か、どうかいい方法はないものかと考えている時、ある友人が『グランガーデン熊本』のパンフレットを持ってきてくれて。ああ、こんな施設があるのだと知りました」と満洲子さん。パンフレットをご覧になって気持ちがお話し合いになられたそうです。そして見学をなさった際、「ここなら安心だなあと感じまして、手術を受けた年に入居を決めて転居しました」とお話しになります。

ご夫婦ともに、ご入居後に気の合うお仲間ができ、充実した毎日を過ごされているそうです。「施設内のいろいろな設備を友人と一緒に利用しています。短時間ではあります。エクササイズ室では、器具を使ったり運動を心掛けていますし、卓球やカラオケなども楽しんでいますよ。卓球は、雑談をしている時間も多いんですがね」と笑顔で教えてくださいました。また、お散歩も楽しみの一つとのこと。熊本城周辺や上通り、下



通り、白川沿いなど、その日の気分のままにコースを決めて歩かれています。

毎日の暮らしの中では、立地の良さも大変魅力に感じられています。市の中心部にありますから、どこに出かけるにしても、交通の便が良くして便利ですね。また、部屋のバルコニーや窓からの眺めもいいのも気に入っています。西に熊本城、東に阿蘇連山の緑の山肌や、一列に並んだ風力発電の白い塔が見える日々、心が洗われているんですよ」とお顔を見合わせてにっこり。

ご入居後、正民さん、満洲子さんは体調を崩されたことがあつたそうです。「その時

は、3階の介護室にお世話になりました。部長さんをはじめ、スタッフの皆さんが親身になって対応していただき、非常に感謝しています。同じ建物の中にいるわけですから安心です。夜間も見守ってくださる上、ボタン一つですぐにスタッフの方が飛んできてくれました。ここに入居して本当によかったですねと話しています」と正民さん。「グランガーデン熊本」を終の住処としてこれからの一日一日を大切に過ごさず中で、幸せを見つけていきたいとお話しになりました。